1. 技術体系の特徴

経営類型	労働力	品目・栽培型及び規模 経営・技術の特徴	
集落営農組 織 I(水稲+ 野菜)	4	本額 基盤整備地区の中山間地域 水稲に野菜の営農 冬作ブロッコリー 350 合計 2350 耕地面積 水田 20ha (全で借入地)	
経営目標	1 農業総 2 農業経 3 農業所	営費 33,608 千円 5 1人当たり年間労働時間 1,448 時間	

2. 資本装備と減価償却費

	種類・規模	数	量	型式·構造·能力	所 割	有合	取得価格	耐用年数	年 間償却額
							千円	年	千円
建	機械倉庫		1	軽量鉄骨180㎡		1	17,012	24	709
物	予冷庫		1	2坪		1	1,019	8	127
190	育苗ハウス			パイプハウス 50㎡		1	248	10	25
施	作業及び収納舎		1	軽量鉄骨 60㎡		1	5,671	24	236
設									
	計						23,949		1,097
	トラクター			41PS(直進、キャビン仕様)		1	11,008	7	1,573
	ロータリー			作業幅170cm		1	1,067	7	152
	代かきハロー			作業幅340cm		1	1,535	7	219
	ブロードキャスタ			ホッパ容量600L		1	1,206	7	172
	育苗用播種機			600箱/時間		1	602	7	86
	田植機			6条(高密度播種、施肥、直進)		1	6,479	7	926
	自脱型コンバイン			5条刈り 70PS		1	17,665	7	2,524
	トラック			2トン		1	7,512	5	1,502
農	動力噴霧機			可搬式		1	184	7	30
機	管理機			6PS		1	218	7	29
具	移植機			步行型半自動		1	556	7	90
	草刈り機		4	背負式		1	200	7	22
	計						48,231		7,325

3. 技術体系

3-1. 技術体系(水稲 20ha)

(10a当たり人、時間)

	Т		r					<u>(10a当たり人、時間)</u>
作業の孫粨	栽培技	支術 		1	作業技術			世练の季亜車項
作業の種類	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作 業人員	実作業 時間	延べ作 業時間	使用資材	技術の重要事項
品種の選定	①種子注文				0.00	0.00	種籾(4kg)	種子更新に努める。
種子の予措	①比重選 ②種子消毒 ③浸種 ④催芽	5中 5中 5中~下 5下		1	0.20	0.20	食塩 種子消毒剤	『県病害虫防除基準』参照種籾 4kgに対し18以程度を目安に、 1日1回水を取りかえる。 催芽はハト胸状態までとする。
育苗	①床土準備 ②播種 ③緑化 ④硬化 ⑤潅水他 ⑥箱施薬	5下 6上 6中 5下~6中 移植前	播種機	2	1.50	3.00	育苗箱 稚苗:10	PH4.5~5.5調整の市販品を使用。 昼間の高温、夜間の低温に注意し、夕方の潅水は避ける。 高密度播種での試算
施肥	①土壌改良 資材施用	6上	トラクター フ [*] ロート [*] キャスタ	2	0.10	0.20	土壌改良資材	施肥基準参照
	①耕起	6上	トラクターロータリー	1	0.50	0.50		麦収穫後できるだけ早〈実施する。
耕起・整地	①代掻き (荒代)	6上	トラクター 代かきハロー	1	0.40	0.40		浅水にして麦わらを土中に埋込
	②代掻き (植代)	6中	トラクター 代かきハロー	1	0.40	0.40		、田面の均平を図る
移植・施肥・除草	①田植え	6中	田植機(側条施肥)	2	0.40	0.80		緩効性肥料を側条施肥 移植同時施薬(除草剤)
	①農薬散布	8上			0.00	0.00	農薬	
病害虫防除	②農薬散布	8下			0.00	0.00	農薬	│ │無人へリ・ドローンへの委託防 │除
	③農薬散布	9上			0.00	0.00	農薬	Par.
管理(水·畦畔)	①間断潅水 ②中干し ③落水 ④畦草刈	7上~9下 7下~8上 9下	トラック 草刈り機	1	6.00	6.00	_	高温時は掛流し潅水とする 目標茎数8割程度で実施。 早期落水防止。
収穫	①刈取り	10上	自脱型コンハ・イン	1	0.50	0.50		適期刈取。生籾長時間放置禁止。 稲わら全量土壌還元又は
	②運搬	.01	トラック	1	0.50	0.50		世肥化促進。
乾燥·調製	①共乾施設	10上			0.00	0.00		共同乾燥施設利用
計					10.50	12.50		

3. 技術体系

3-2. 技術体系 (冬作ブロッコリー)3.5ha

(10a当たり人、時間)

	栽培技	支術		作業体	系		使用資材	技術の重要事項
作業の 種類	技術 内容	作業 時期	使用 機械 器具	組み 作業 人員	実 作業 時間	延べ 作業 時間		
播種	育苗ハウス 寒冷紗被覆	8月下~ 10月 上	トラック 播種機	2	2.5		種子 寒冷紗 トレイ(128穴) 専用培土	高温と乾燥対策が必要 トレイは浮かせる。 深植にならないよう注意す る。
管 理	かん水	8月下~ 10月 上	かん水施設	1	7	6		乾燥に注意する。
病害虫防除	薬剤散布	8月下~ 10上	動力噴霧機	1	1	1		県病害虫防除基準による。
(本ぽ) 耕うん 整 地	耕 起 整 地	9月上~ 10月 中	トラクター	1	4	4	堆肥∶2t 石灰質資材: 100kg	深耕及び有機質の多用。
施肥	基肥施用	9月上~ 10月 下	トラクター	2	1	2	N 20kg P2O5 25kg K2O 30kg	N分施の割合(基肥60%、追 肥 40%)
定植準備	畦立て	9月上~ 10月 中	トラクター	1	1	1		
定植		9月中~ 11月 上	移植機 トラック	2	2	4		栽植密度 早生 1.4m×35cm(2条)、 4,000株 本葉3~4枚時に定植する。
除草	除草剤散布	9月中~ 11月 下	動力噴霧機	2	1	2		県雑草防除基準による
施肥	追肥施用	9月下~ 11月 中	トラクター	2	2	4		N分施の割合(基肥60%、追肥 40%) 追肥は定植後15~20日と30~40 日後の2回施用。
かん水		9月中~ 11月 上		2	4	8		活着のため十分かん水する。
土寄せ		9月下~ 11月 中	管理機	1	2	2		
病害虫防除	薬剤散布	9月中~ 12月 上	動力噴霧機	2	3	6		使用薬剤及び使用方法は県 病害虫防除基準による。
収穫 出荷		1月上~ 3月下	トラック	3	14	42		花蕾の肥大が止まらない期間(やや若採り)に収穫する。
後片付け		4月下~	トラック トラクター	2	3	6		
計					47.5	94		

4. 品目の作付体系(〇播種、△移殖、◎収穫))播種、	△移殖、	◎収穫)									
	1	2	3	4	5	9	7	8	6	10	11	12
普通期水稲					0	٥				0		
冬作ブロッコリー	• (0)		0					0	∀	— 0 ~ ¬ — 0	-∇ -	

5. 作業別・旬別労働時間(10a当たり時間)

水稲20ha

_		2	·	2	2	8	ထ	_	_		2	2	10 1	C.7
#		0.2	3	0.2	0.5	0.8	0.8	0	0	9	0.5	0.5	Ċ	
	۲												0 0	
12	#									~~~				O
	ᅬ												0	
	۲												0	
Ξ	-												0	O
	4												0	
	۲												0	
10	#												0	1.5
	4									0.5	0.5	0.5	1.5	
	۲									0.5			0.5	
6	#						~~~			0.5			0.5	1.5
	4		· · ·			~~				0.5		••••	0.5	
	۲									0.5			0.5	
8	#									0.5			0.5	1.5
	4				~~~					0.5			0.5	
	۲									0.5			0.5	
7		••••		• • • •				••••	••••	0.5	• • • •		0.5	1.5
	 -4									0.5			0.5	
	۲									0.5			0.5	
9	 U		0.5			0.4	8.0			0.5			2.2	4.8
	 4		-	0.2	0.5	0.4			••••		• • • •		2.1	
	۲	0.1	1.5										1.6	
2	 ⊕	0.1											0.1	1 7
	4												0	
	۲												0	
4													0	U
	4												0	
	۲												0	
3	 #									••••			0	U
	- 4												0	
	ا ب												0	
2	<u>'</u>		ļ		ļ			ļ				ļ	0	0
	 -4												0	
	⊬												0	
_	 #												0	_
	 												0	
														L
口日. 佐業 /日. 句	8日17年末~月19	種子予措	育苗	格問	耕起整地	代かき	移植	除草	病害虫防除	管理	収穫	運搬·出荷	╁ᇜ	福田

ブロッコリー(冬作)3.5ha

0 1 2 4 7 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	⊬ ⊕ 4						9 9		6 6 5	17
2	노 + +						5 5 4		5 5 4	14
3	노 #						4 4 3		4 4 3	11
4	· 上 中 干	••••						9	9	9
5	_ 上 由 1		~~~							0
9	イ 									0
7	十 中		••••							0
8	上	3				0.2			3.2	3.2
6	上《中》十	2 2 2	1 1 1	7.0 7.0	2 4	0.2 1 0.2			3.2 6.7 7.9	17.8
10	노	2 1	1 1 1	0.7 0.7 0.6	3 2 2	1 0 1.2			7.7 4.7 4.8	17.2
11	노 +			9.0	2 1	1 0 1.2			4.6 1 1.2	6.8
12	노 # 기	••••				1 }			1 }	1
4	ū	12	7	4	16	7	42	9		94

10 11	中 	377 570 165 168 161 35 42	188 235 165 32 32 18	188 335 0 136 129 18
6	世 ・ コ ト	212 212 335	106 106 167	106 106 167
8	# 기 노	0 100 100 100	0 50 50 50	50 50 50 50
7	+ + + + + + + + + + - + - + - <	100 100 100	0 20 20	100 50
9	#. 기 노	320 420 440	7 130 73	313 290 367
2	<u> </u>	210 0 20	105 0 7	
4	# 기 노	105 0 0	53 0 0	53 0 0
3	П Н	140 140 140	70 70 70	70 70 70
2	 라 기 노	75 175 175 1	88 88 88	88 88 88
-	# 4	210 210 17	105 105 8	105 105 8
p. 棇分側時间		総労働時間	うちオペ゜レータ労働	うち補助労働